

5 就労意識

(1) 中学生、高校生の就労意識

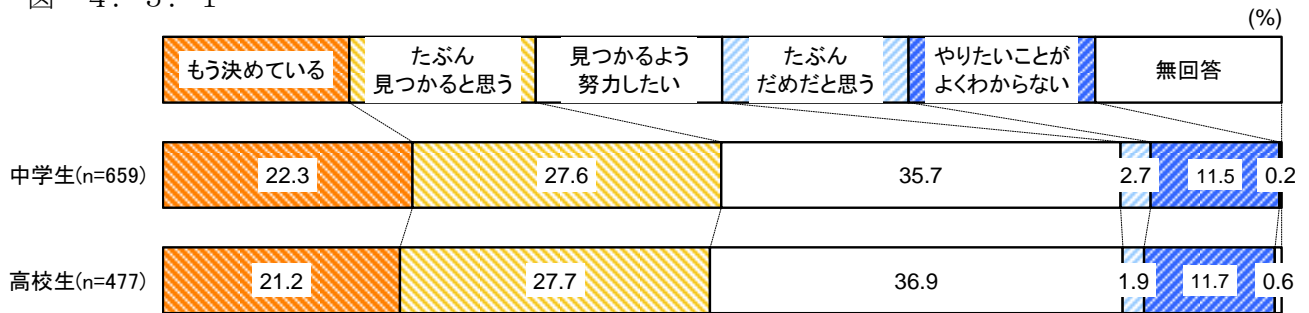
ア. 自分にふさわしい仕事 (中学生、高校生)

将来、自分にふさわしい仕事が見つかると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 もう決めている 2 たぶん見つかると思う 3 見つかるよう努力したい

4 たぶんだめだと思う 5 やりたいことがよくわからない

図 4. 5. 1



中学生、高校生に、自分にふさわしい仕事が見つかると思うか聞いたところ、中学生、高校生ともに、「見つかるよう努力したい」が最も多く、それぞれ 35.7%、36.9%となっています。次いで、中学生、高校生ともに、「たぶん見つかると思う」(中学生：27.6%、高校生：27.7%)、「もう決めている」(中学生：22.3%、高校生：21.2%)、「やりたいことがよくわからない」(中学生：11.5%、高校生：11.7%)と続いています。

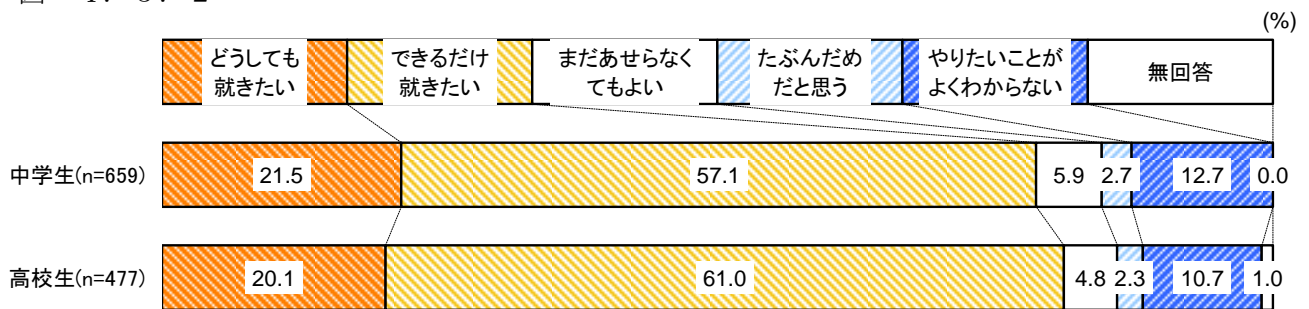
イ. 夢を実現させる仕事 (中学生、高校生)

将来、自分の夢を実現させる仕事に就きたいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 どうしても就きたい 2 できるだけ就きたい 3 まだあせらなくてもよい

4 たぶんだめだと思う 5 やりたいことがよくわからない

図 4. 5. 2



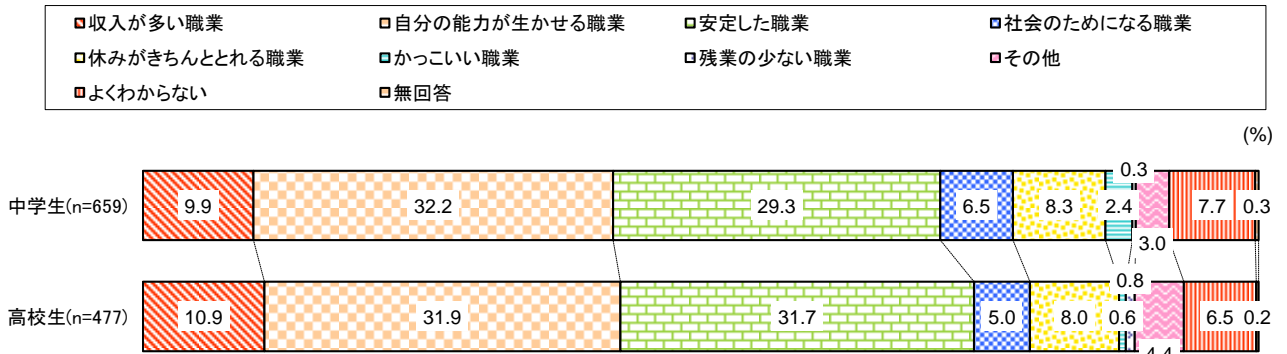
中学生、高校生に、夢を実現させる仕事に就きたいかを聞いたところ、中学生、高校生ともに「できるだけ就きたい」が最も多く、それぞれ 57.1%、61.0%となっています。次いで、中学生、高校生ともに「どうしても就きたい」(中学生：21.5%、高校生：20.1%)、「やりたいことがよくわからない」(中学生：12.7%、高校生：10.7%)、「まだあせらなくてもよい」(中学生：5.9%、高校生：4.8%)と続いています。

ウ. 将来就きたい職業（中学生、高校生）

あなたは、将来どんな職業に就きたいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1 収入が多い職業	2 自分の能力が活かせる職業	3 安定した職業
4 社会のためになる職業	5 休みがきちんととれる職業	6 カッコいい職業
7 残業の少ない職業	8 その他	9 よくわからない

図 4. 5. 3



中学生、高校生に、将来就きたい職業を聞いたところ、中学生、高校生ともに、「自分の能力が活かせる職業」がそれぞれ 32.2%、31.9%と最も多く、次いで「安定した職業」（中学生：29.3%、高校生：31.7%）、「収入が多い職業」（中学生：9.9%、高校生：10.9%）と続いています。

過年度調査との比較

図 4. 5. 4 「自分の能力が活かせる職業」

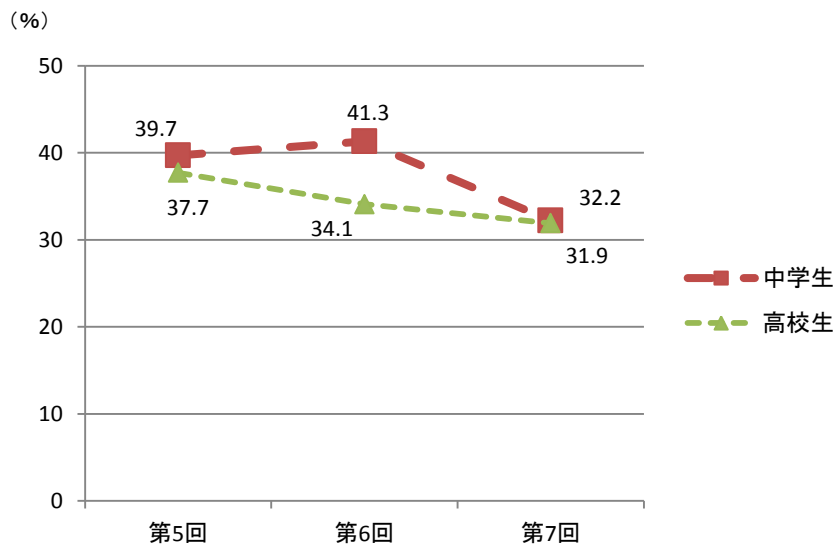


図 4. 5. 5 「安定した職業」

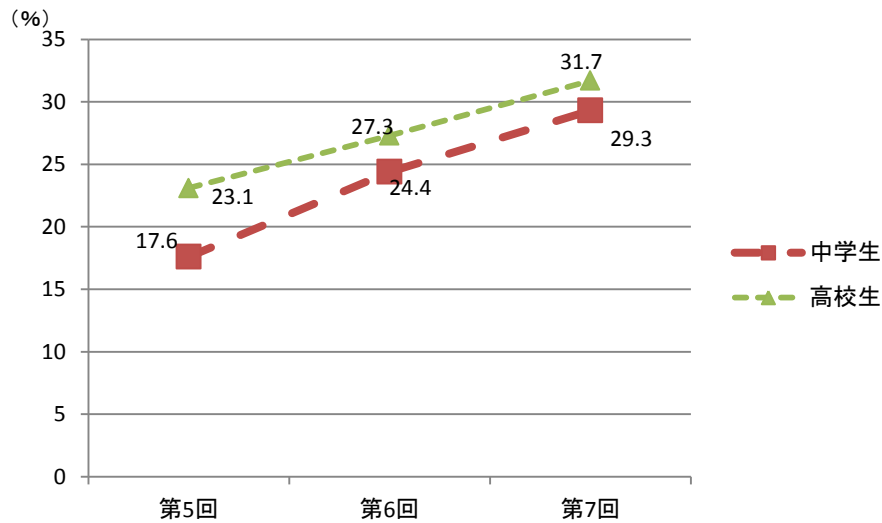
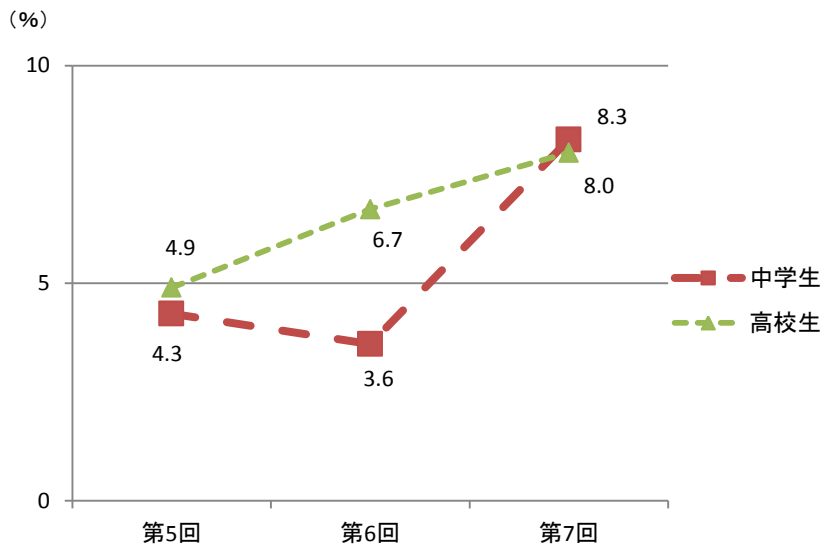


図 4. 5. 6 「休みがきちんととれる職業」



第5回、第6回調査と比較すると、「自分の能力が生かせる職業」は各回で最も多く回答されていますが、その割合は中学生、高校生ともに減少傾向にあります。特に中学生では、第6回調査の41.3%から今回調査では9.1ポイント減少しています。

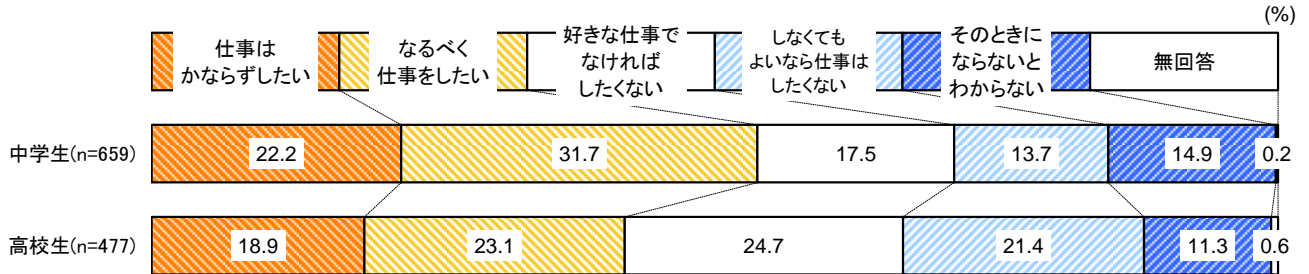
一方、増加傾向にある項目としては、「安定した職業」が中学生、高校生の両方で増加しており、中学生では第5回調査の17.6%から、今回調査の29.3%へと11.7ポイント、高校生では第5回調査の23.1%から、今回調査の31.7%へと8.6ポイント増加しています。また、「休みがきちんととれる職業」は、中学生では、第5回調査の4.3%から今回調査の8.3%へと4.0ポイント、高校生では、第5回調査の4.9%から今回調査の8.0%へと3.1ポイント増加しています。

エ. 仕事をしなくても生活が出来るとした場合（中学生、高校生）

仕事をしなくても生活できるとしたらどうしますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 仕事はかならずしたい	2 なるべく仕事をしたい
3 好きな仕事でなければしたくない	4 しなくてもよいなら仕事はしたくない
5 そのときにならないとわからない	

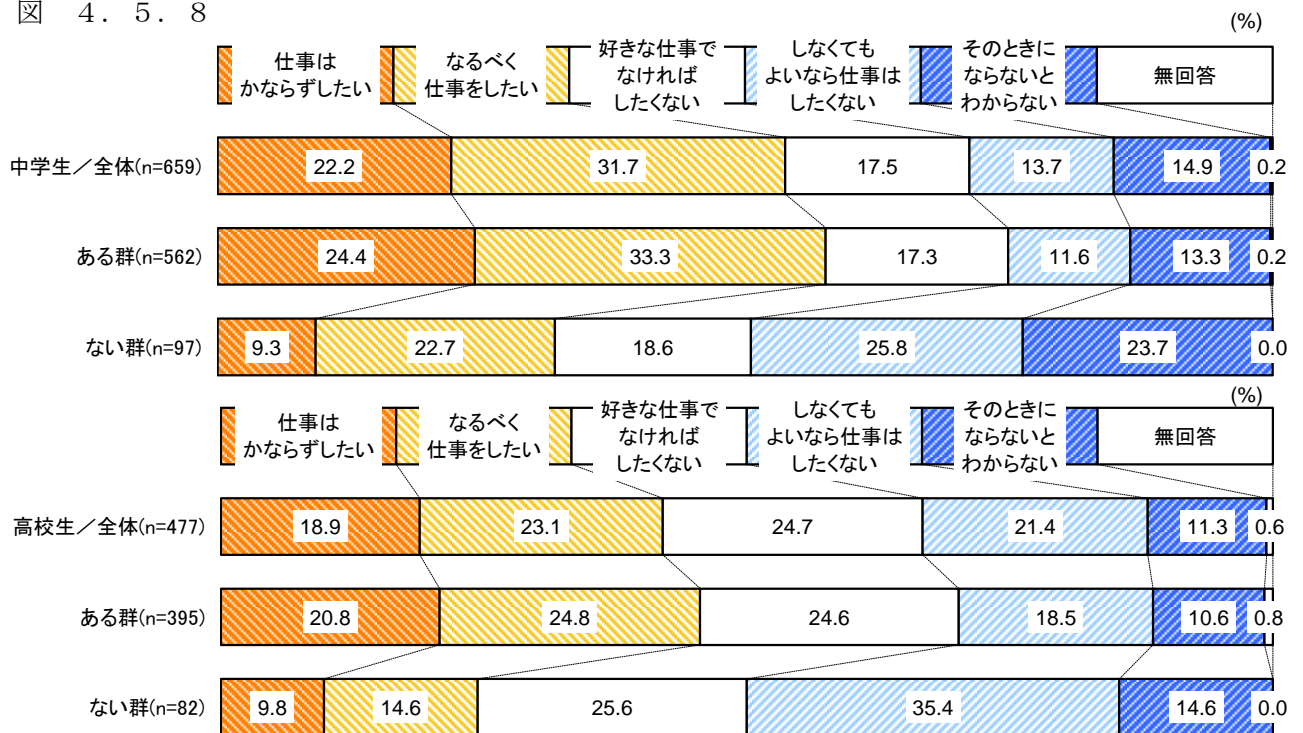
図 4. 5. 7



中学生、高校生に、仕事をしなくても生活ができる場合にどうするかを聞いたところ、中学生では、「なるべく仕事をしたい」が31.7%と最も多く、次いで「仕事はかならずしたい」(22.2%)、「好きな仕事でなければしたくない」(17.5%)と続いています。高校生では、「好きな仕事でなければしたくない」(24.7%)、「なるべく仕事をしたい」(23.1%)、「しなくてもよいなら仕事はしたくない」(21.4%)と続いています。

得意なものや自信のあるものとの関係

図 4. 5. 8



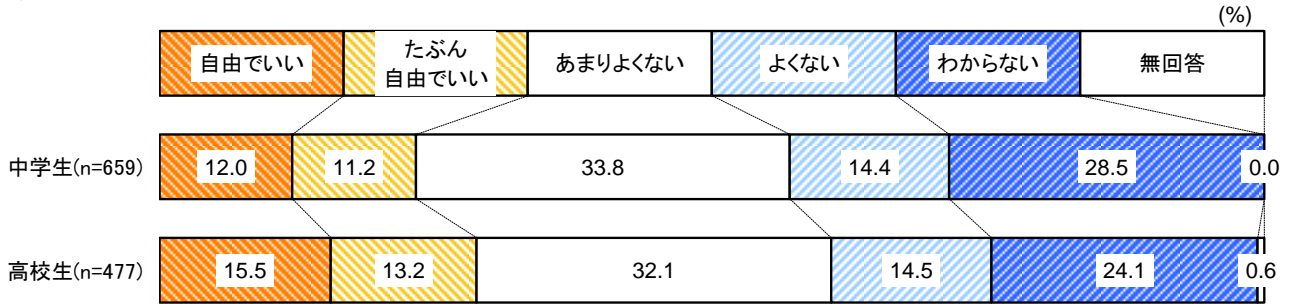
中学生、高校生ともに、「得意なものや自信のあるもの」が「ある群」は、「仕事はかならずしたい」、「なるべく仕事をしたい」と回答した人の割合が高くなっています。

「しなくてもよいなら仕事はしたくない」は、中学生では、「ある群」では11.6%に対し、「ない群」では25.8%、高校生では、「ある群」18.5%に対し、「ない群」35.4%と高くなっています。

オ. 定職に就かないこと（中学生、高校生）

定職に就かないことをどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。
 1 自由でいい 2 たぶん自由でいい 3 あまりよくない
 4 よくない 5 わからない

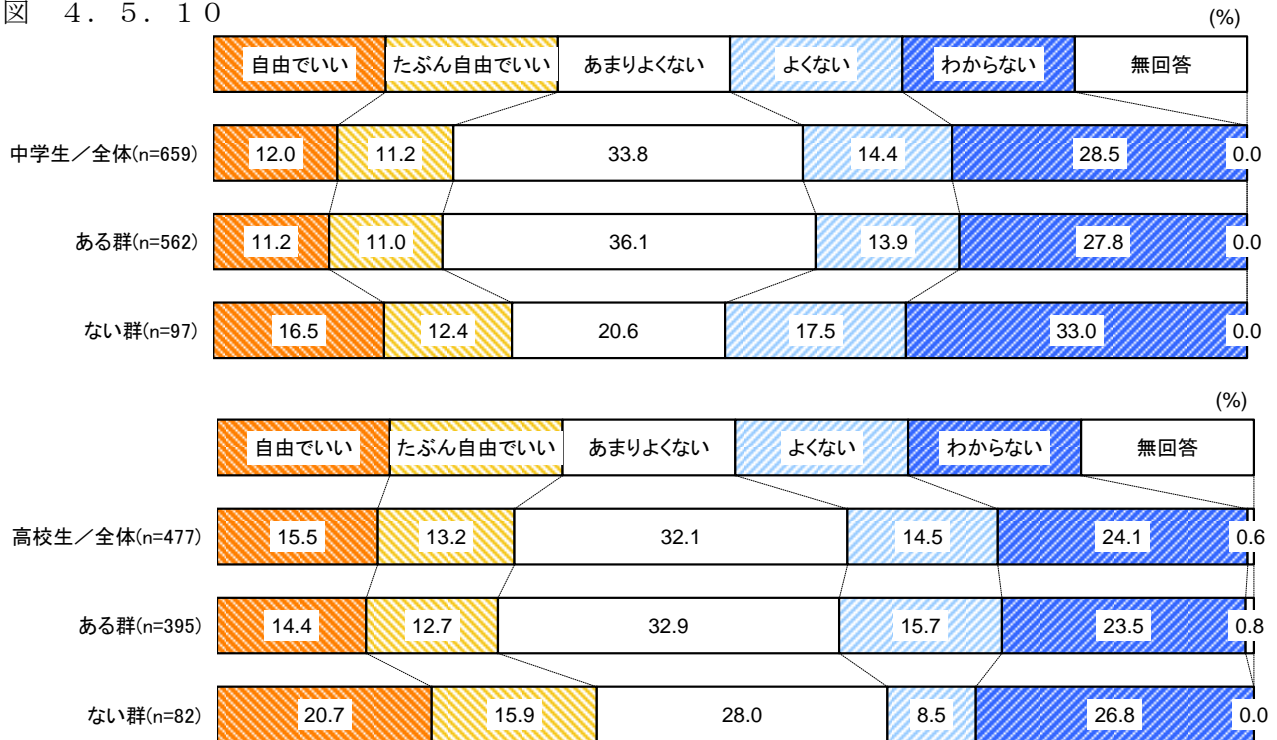
図 4. 5. 9



中学生、高校生に、定職に就かないことについて聞いたところ、中学生、高校生ともに「あまりよくない」がそれぞれ33.8%、32.1%と最も多く、次いで中学生、高校生ともに「わからない」がそれぞれ28.5%、24.1%と続いています。次いで中学生は「よくない」(14.4%)、高校生は「自由でいい」(15.5%)が多くなっています。

得意なものや自信のあるものとの関係

図 4. 5. 10



中学生、高校生ともに、「得意なものや自信のあるもの」が「ある群」は、「ない群」よりも、「あまりよくない」、「よくない」と回答した人の割合が高く、定職に就かないことに対して否定的な考え方を持っています。

「あまりよくない」、「よくない」を合計した割合は、中学生では、「ある群」は計50.0%に対し、「ない群」は計38.1%、高校生では、「ある群」は計48.6%に対し、「ない群」は計36.5%となっています。

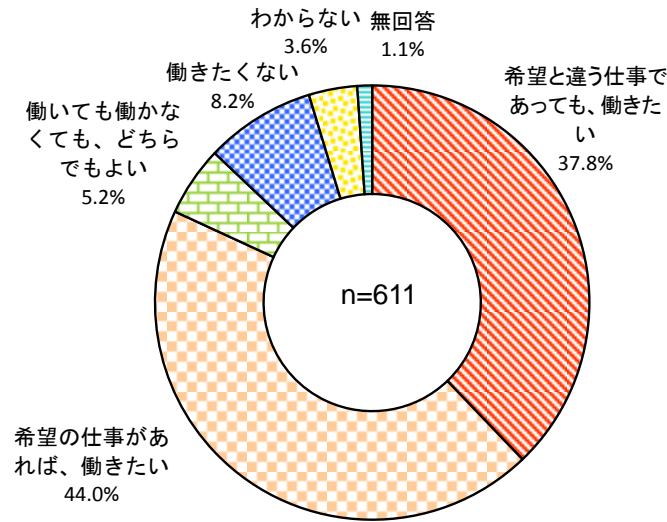
(2) 青年の就労意識

ア. 就労意向 (青年)

あなたは、就労についてどう考えていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 希望と違う仕事であっても、働きたい 2 希望の仕事であれば、働きたい
 3 働いても働かなくても、どちらでもよい 4 働きたくない 5 わからない

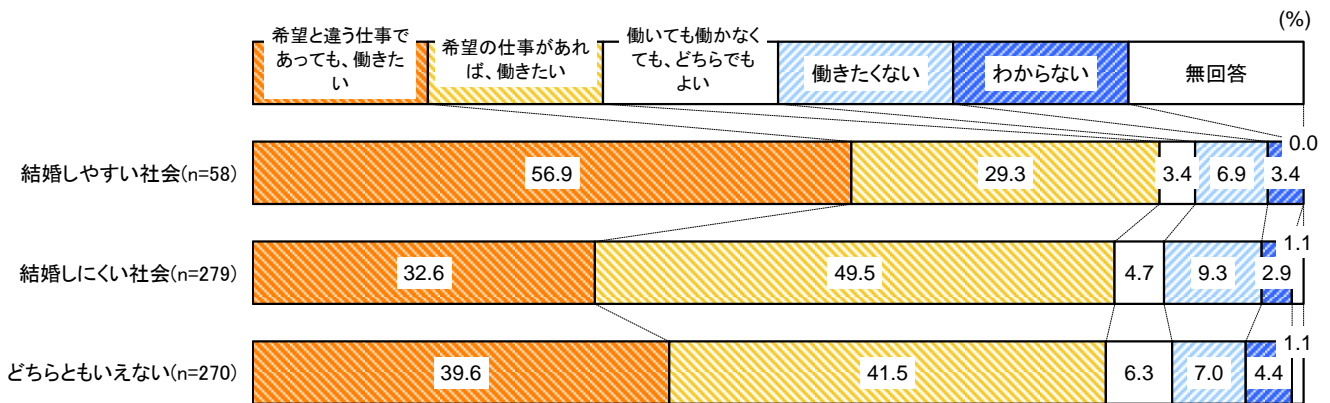
図 4. 5. 1 1



青年に、就労意向を聞いたところ、「希望の仕事があれば、働きたい」が44.0%と、「希望と違う仕事であっても、働きたい」の37.8%を上回っています。

結婚についての考え方との関係

図 4. 5. 1 2

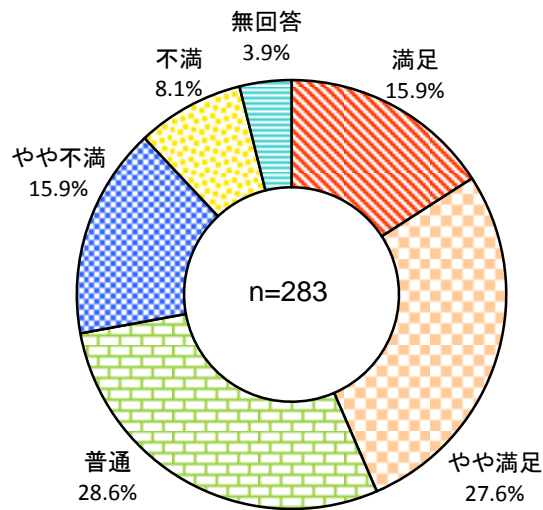


「結婚しやすい社会だと思うか」についての回答別にみると、「結婚しやすい社会」と回答した人は、「希望と違う仕事であっても、働きたい」が56.9%であるのに対し、「結婚しにくい社会」と回答した人では32.6%、「どちらともいえない」と回答した人では39.6%となっています。

イ. 現在の職場の満足度（青年）

現在の職場に満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。
 1 満足 2 やや満足 3 普通 4 やや不満 5 不満

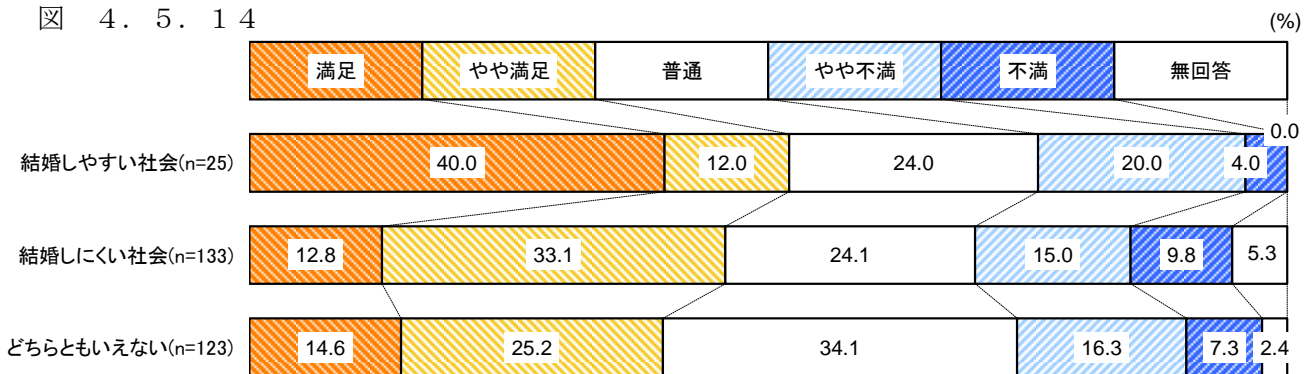
図 4. 5. 1 3



就労している青年に、現在の職場への満足度を聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は計 43.5%と、「やや不満」「不満」を合わせた計 24.0%を上回っています。

結婚についての考え方との関係

図 4. 5. 1 4



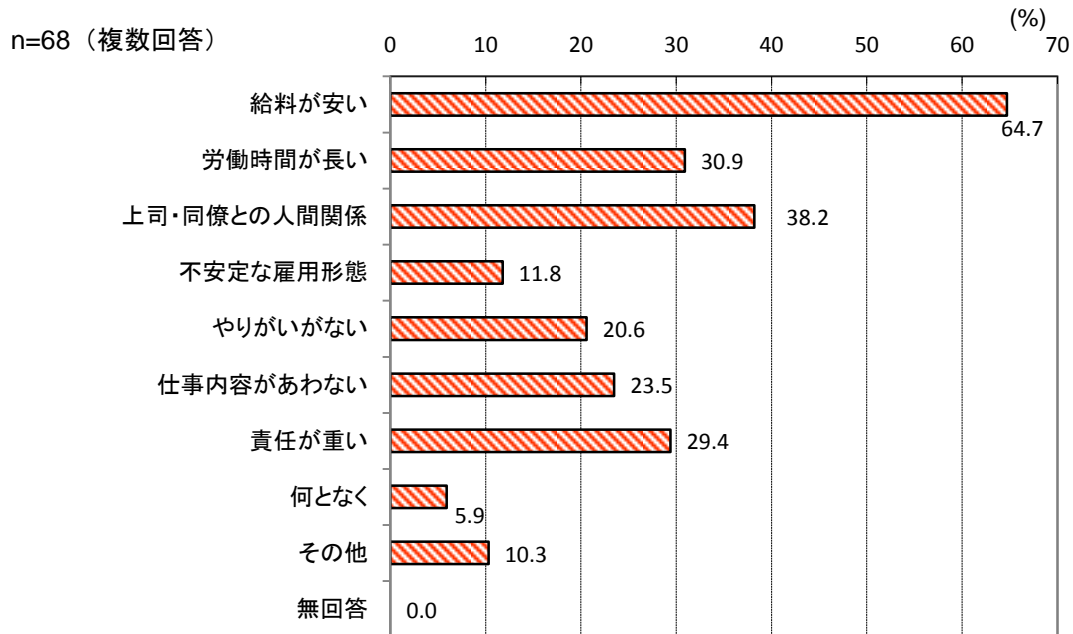
「結婚しやすい社会だと思うか」についての回答別にみると、「結婚しやすい社会」と回答した人は、「満足」が 40.0%と、「結婚しにくい社会」と回答した人の 12.8%、「どちらともいえない」と回答した人の 14.6%よりも高くなっています。

ウ. 現在の職場が不満な理由（青年）

前問で「4 やや不満、5 不満」と回答した方にお伺いします。不満の理由はどんなことですか。次の中から全部選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|---------------|
| 1 給料が安い | 2 労働時間が長い | 3 上司・同僚との人間関係 |
| 4 不安定な雇用形態 | 5 やりがいががない | 6 仕事内容があわない |
| 7 責任が重い | 8 何となく | |
| 9 その他（ | | ） |

図 4. 5. 15



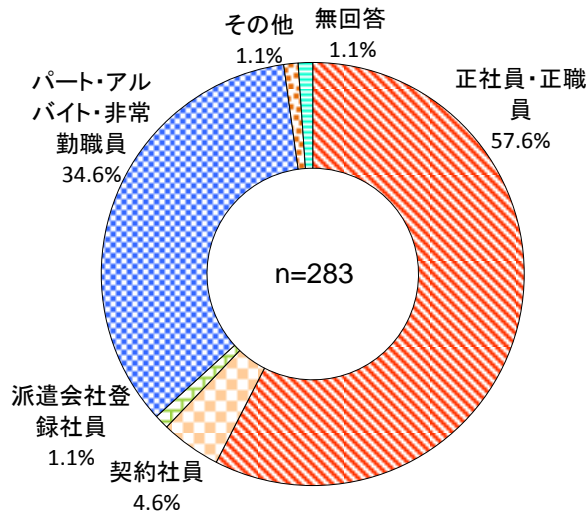
青年に、現在の職場が不満な理由を聞いたところ、「給料が安い」が 64.7%と最も多く、次いで「上司・同僚との人間関係」(38.2%)、「労働時間が長い」(30.9%)、「責任が重い」(29.4%)、「仕事内容があわない」(23.5%)、「やりがいががない」(20.6%)と続いています。6割を超える人が、収入に不満を持っています。

エ. 初めて就いた職業の働き方（青年）

初めて就いた職業の働き方について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 正社員・正職員	2 契約社員
3 派遣会社登録社員	4 パート・アルバイト・非常勤職員
5 その他 ()	

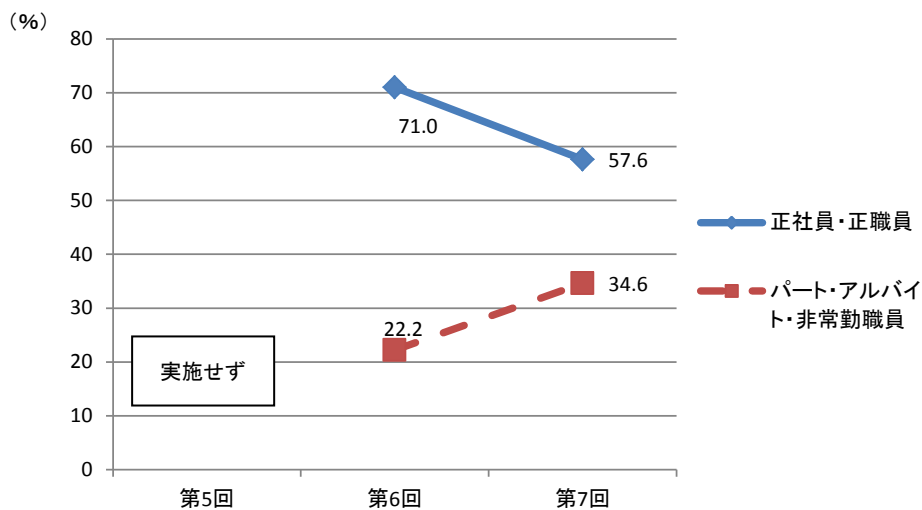
図 4. 5. 16



就労している青年に、初めて就いた職業の働き方を聞いたところ、「正社員・正職員」が 57.6%で、「パート・アルバイト・非常勤職員」の 34.6%を上回っています。「契約社員」、「派遣会社登録社員」、「パート・アルバイト・非常勤職員」、を合わせた非正規雇用の割合は、約 4 割弱となっています。

過年度調査との比較

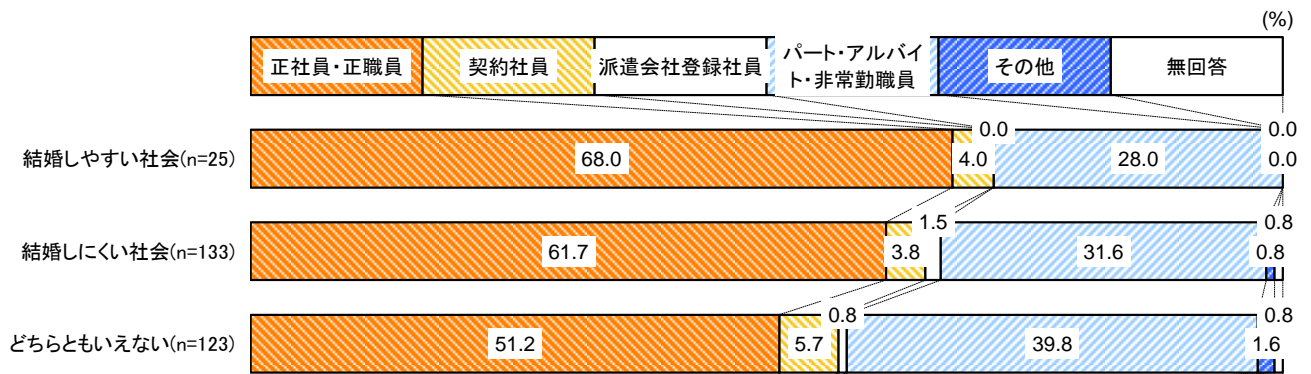
図 4. 5. 17 「正社員・正職員」、「パート・アルバイト・非常勤職員」



第 6 回調査結果と比較すると、「正社員・正職員」は 13.4 ポイント低下し、「パート・アルバイト・非常勤職員」は 12.4 ポイント増加しています。ただし、第 6 回調査の回答者（青年）は男性：51.3%、女性：48.2%でしたが、今回調査では男性：41.9%、女性：57.3%となっています。

結婚についての考え方との関係

図 4. 5. 1 8



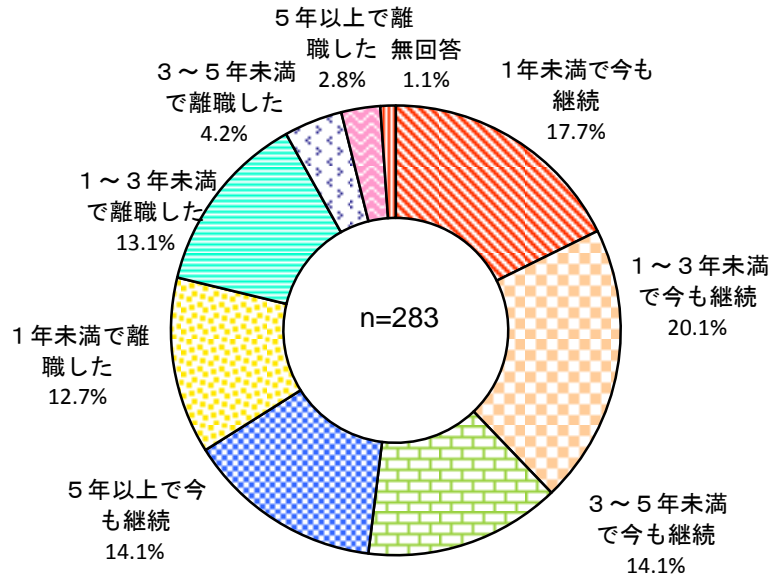
「結婚しやすい社会だと思うか」についての回答別にみると、「結婚しやすい社会」と回答した人は、「正社員・正職員」が68.0%であるのに対し、「結婚しにくい社会」と回答した人では61.7%、「どちらともいえない」と回答した人では51.2%となっています。

オ. 初めて就いた職業の継続期間（青年）

初めて就いた職業の継続期間について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 1年未満で今も継続	2 1～3年未満で今も継続	3 3～5年未満で今も継続
4 5年以上で今も継続	5 1年未満で離職した	6 1～3年未満で離職した
7 3～5年未満で離職した	8 5年以上で離職した	

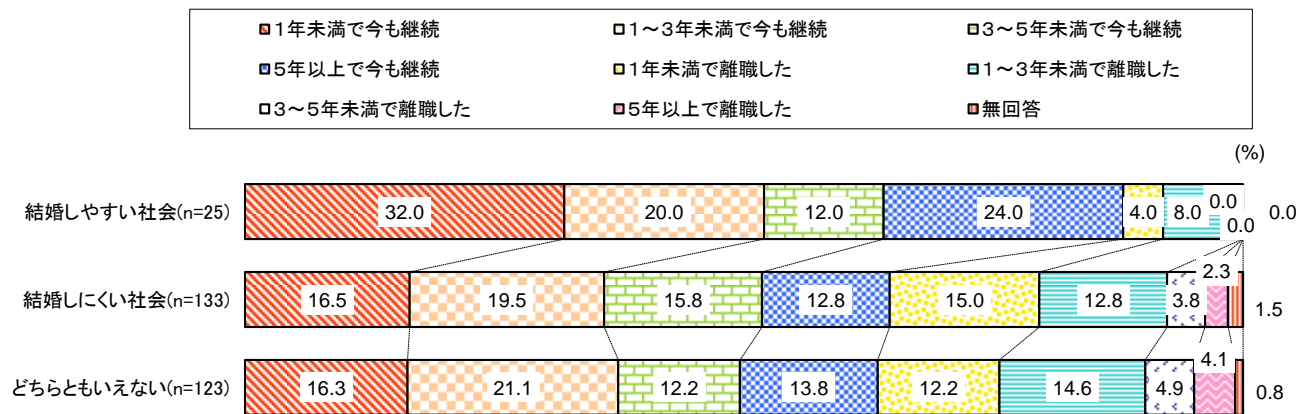
図 4. 5. 19



就労している青年に、初めて就いた職業の継続期間を聞いたところ、「1～3年未満で今も継続」が20.1%と最も多く、次いで「1年未満で今も継続」(17.7%)、「3～5年未満で今も継続」「5年以上で今も継続」(いずれも14.1%)、「1～3年未満で離職した」(13.1%)と続いています。

結婚についての考え方との関係

図 4. 5. 20



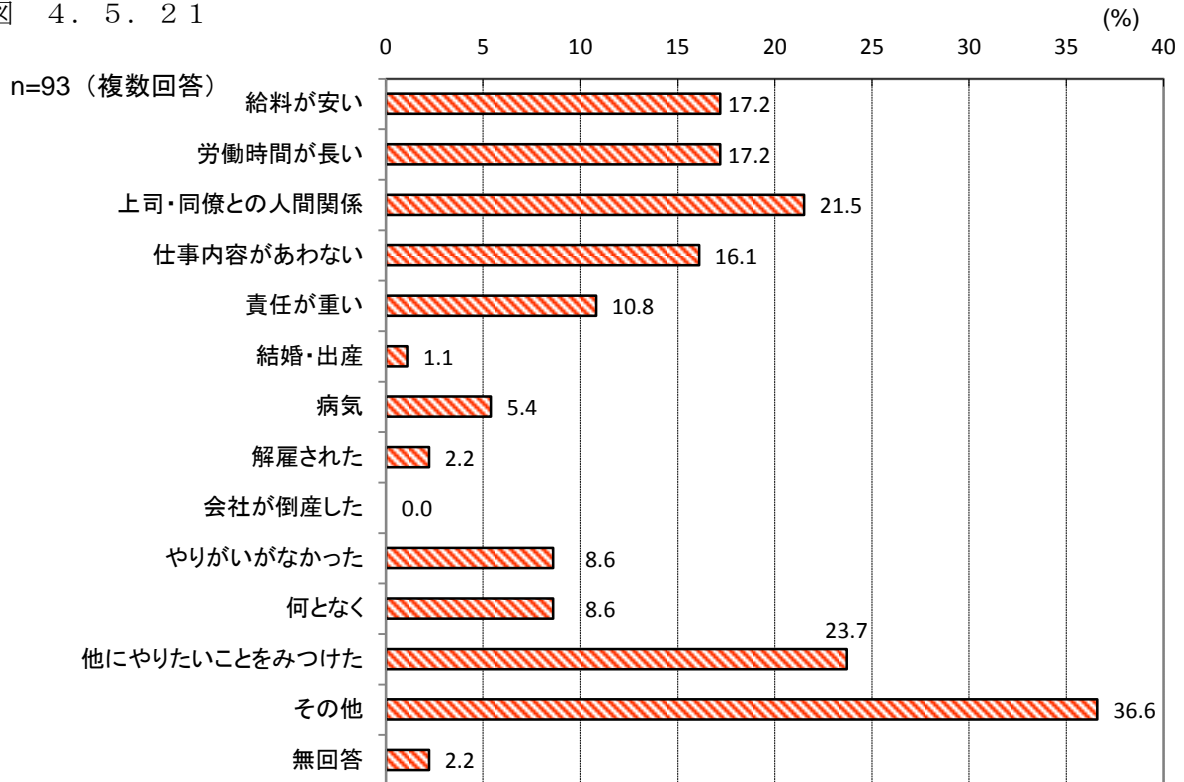
「結婚しやすい社会だと思いか」についての回答別にみると、「結婚しやすい社会」と回答した人は、「1年未満で今も継続」「1～3年未満で今も継続」「3～5年未満で今も継続」「5年以上で今も継続」が計88.0%であるのに対し、「結婚しにくい社会」と回答した人では計64.6%、「どちらともいえない」と回答した人では計63.4%となっています。

カ. 離職した理由（青年）

前問で「5～8の離職した」と回答した方にお伺いします。初めて就いた職業を離職した理由を次の中から全部選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------|------------------|
| 1 給料が安い | 2 労働時間が長い | 3 上司・同僚との人間関係 |
| 4 仕事内容があわない | 5 責任が重い | 6 結婚・出産 |
| 7 病気 | 8 解雇された | 9 会社が倒産した |
| 10 やりがいがなかった | 11 何となく | 12 他にやりたいことをみつけた |
| 13 その他（ | | ） |

図 4. 5. 2 1



青年に、離職した理由を聞いたところ、「その他」以外では、「他にやりたいことをみつけた」が23.7%で最も多く、次いで「上司・同僚との人間関係」（21.5%）、「給料が安い」「労働時間が長い」（いずれも17.2%）と続いています。

< 「その他」の記述内容 > ※（）内は件数

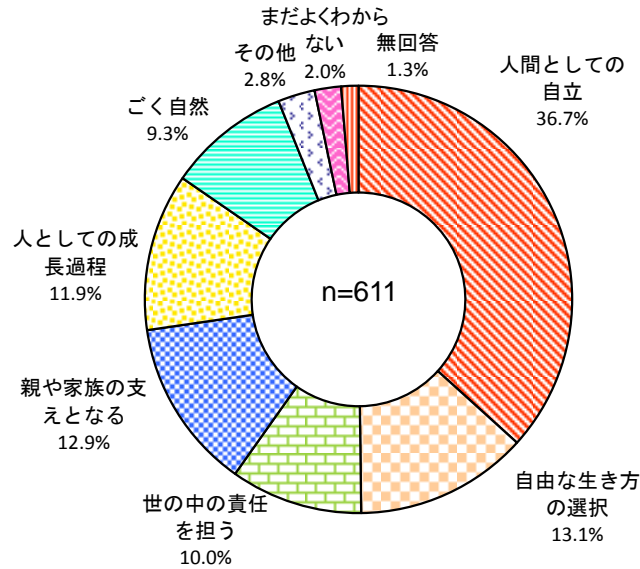
- ・正規雇用の職への転職などキャリアアップのため（14）
- ・学業や進学を優先したため（10）
- ・職場環境や労働環境に対する不満等（3）
- ・雇用先の都合により退職（3）
- ・その他：転居のため（1）

キ. 社会に出て仕事をするものの意味（青年）

社会に出て仕事をするものは、あなたにとってどのような意味をもちますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 人間としての自立	2 自由な生き方の選択	3 世の中の責任を担う
4 親や家族の支えとなる	5 人としての成長過程	6 ごく自然
7 その他（		）
8 まだよくわからない		

図 4. 5. 2 2



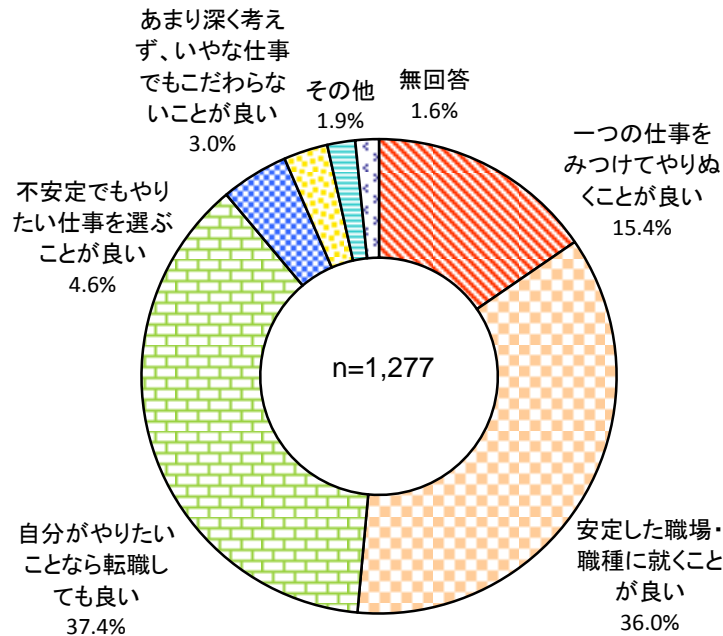
青年に、社会に出て仕事をするものの意味を聞いたところ、「人間としての自立」が 36.7%と最も多く、次いで「自由な生き方の選択」(13.1%)、「親や家族の支えとなる」(12.9%)、「人としての成長過程」(11.9%)、「世の中の責任を担う」(10.0%)と続いています。

(3) 子どもの就労に対する考え方 (保護者)

お子さんの就労についてどう考えていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 一つの仕事をみつけてやりぬくことが良い 2 安定した職場・職種に就くことが良い
 3 自分がやりたいことなら転職しても良い 4 不安定でもやりたい仕事を選ぶことが良い
 5 あまり深く考えず、いやな仕事でもこだわらないことが良い
 6 その他 ()

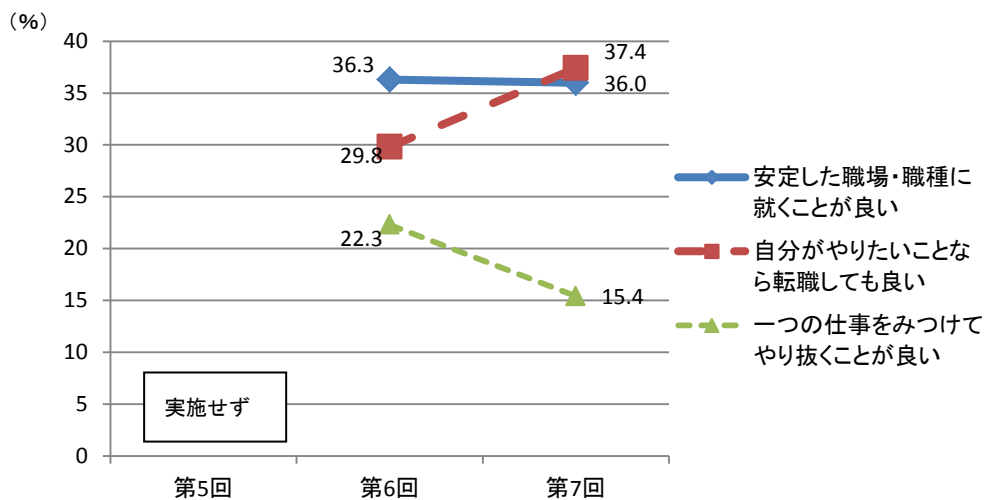
図 4. 5. 2 3



保護者に、子どもの就労に対する考え方を聞いたところ、「自分がやりたいことなら転職しても良い」が 37.4%と、「安定した職場・職種に就くことが良い」の 36.0%を上回っています。

過年度調査との比較

図 4. 5. 2 4 「安定した職場」「やりたいことなら転職しても良い」「一つの仕事をみつけてやり抜く」



第6回調査結果と比較すると、「自分がやりたいことなら転職しても良い」が 7.6 ポイント増加し、「一つの仕事をみつけてやり抜くことが良い」は 6.9 ポイント減少しています。

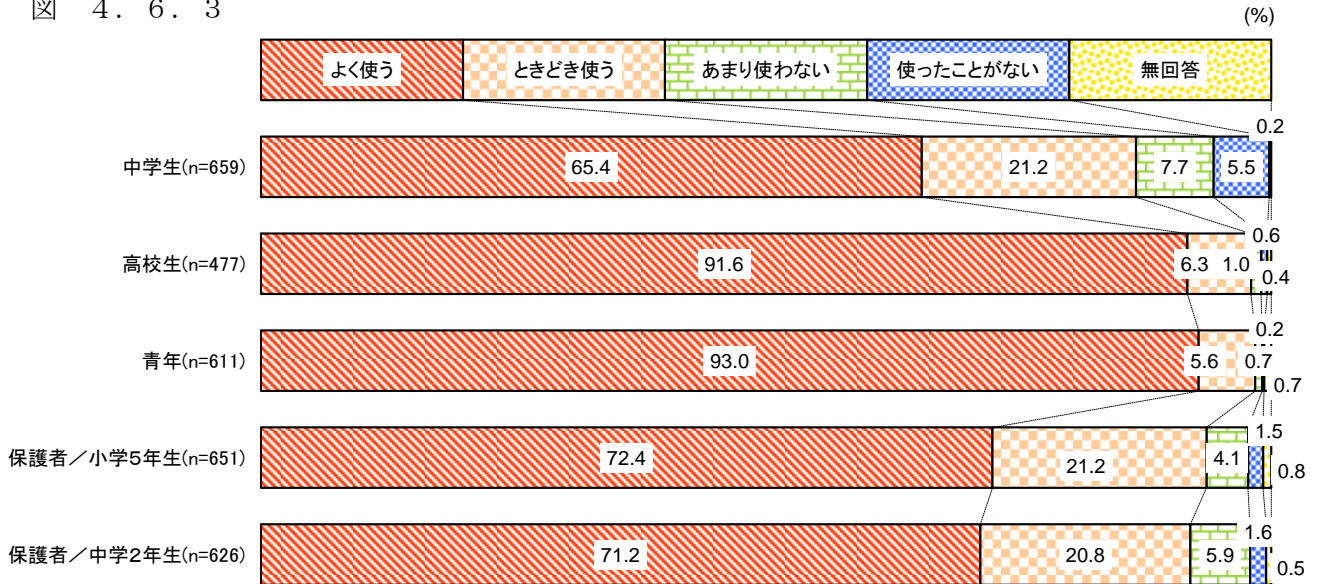
(2) インターネットを使う頻度 (中学生、高校生、青年、保護者)

携帯電話やスマートフォンなどでインターネットを使うことがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 よく使う 2 ときどき使う

3 あまり使わない 4 使ったことがない

図 4.6.3



中学生、高校生、青年、保護者に、インターネットを使う頻度を聞いたところ、中学生の 65.4%、高校生の 91.6%、青年の 93.0% が「よく使う」と回答しています。保護者では、小学校 5 年生の保護者の 72.4%、中学校 2 年生の保護者の 71.2% が「よく使う」と回答しています。

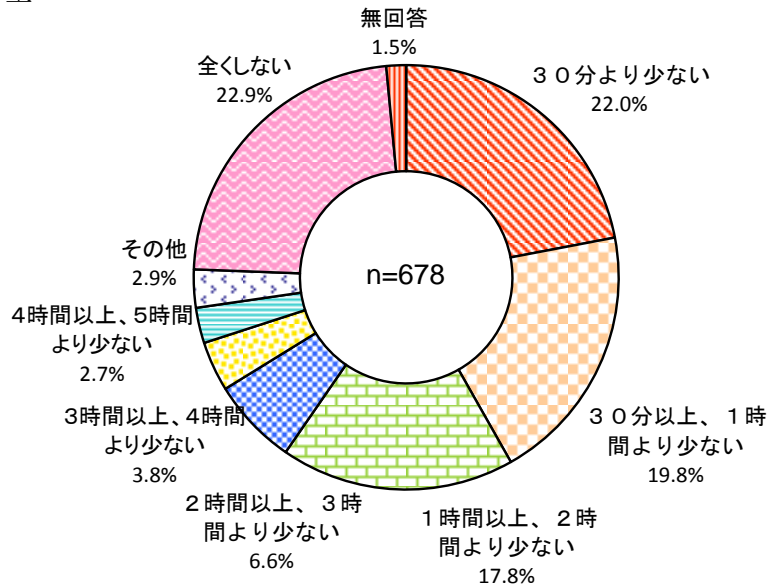
(3) 携帯電話やスマートフォンの利用時間（小学生、中学生、高校生）

スマートフォン（タブレット・携帯電話含む）を1日あたりどのくらい使用しますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 30分より少ない	2 30分以上、1時間より少ない
3 1時間以上、2時間より少ない	4 2時間以上、3時間より少ない
5 3時間以上、4時間より少ない	6 4時間以上、5時間より少ない
7 その他（ 時間以上）	8 全くしない

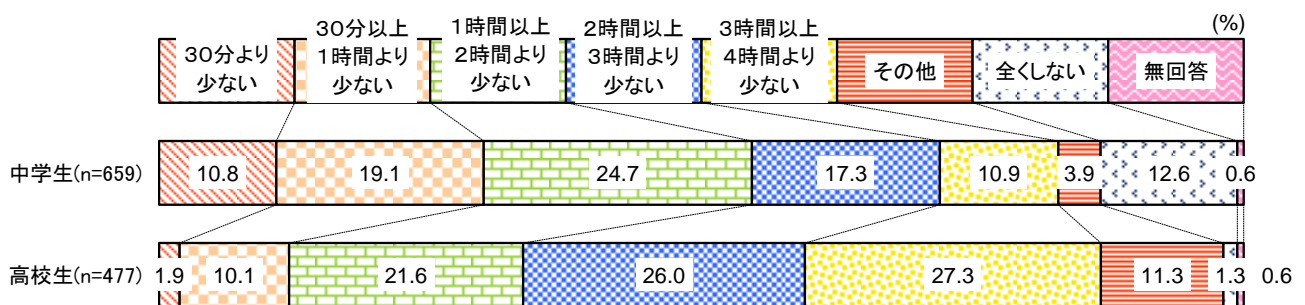
※「4時間以上、5時間より少ない」は、「小学生」のみに聴取

図 4. 6. 4 小学生



小学生に、スマートフォンの利用時間を聞いたところ、「30分より少ない」が22.0%、「30分以上、1時間より少ない」が19.8%、「1時間以上、2時間より少ない」が17.8%となっています。

図 4. 6. 5 中学生・高校生



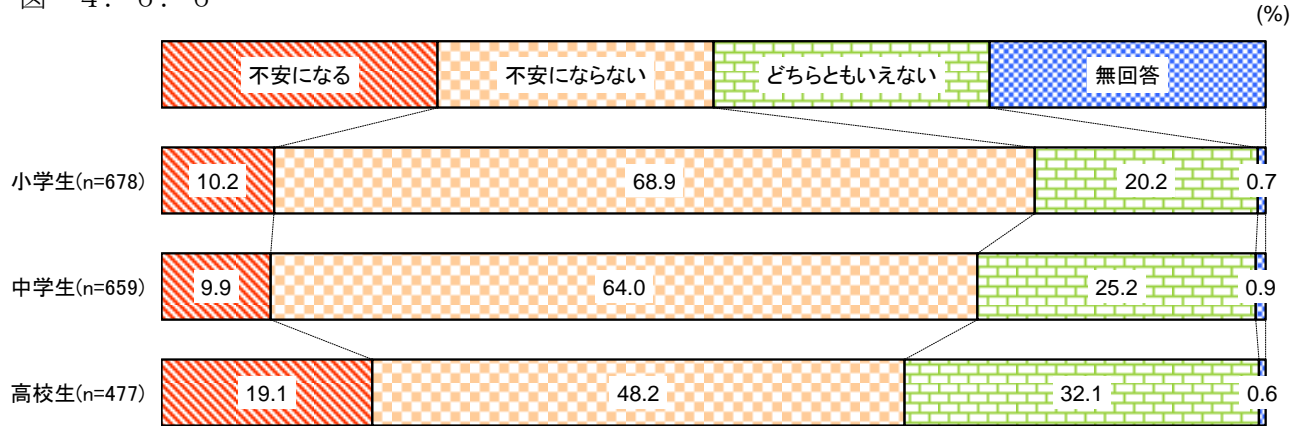
中学生、高校生に、スマートフォンの利用時間を聞いたところ、中学生では「1時間以上2時間より少ない」が24.7%、「30分以上1時間より少ない」が19.1%、「2時間以上3時間より少ない」が17.3%となっています。高校生では「3時間以上4時間より少ない」が27.3%、「2時間以上3時間より少ない」が26.0%、「1時間以上2時間より少ない」が21.6%となっています。中学生よりも高校生の方が利用時間が長く、高校生では計53.3%が2時間以上利用していると回答しています。

(4) インターネットを使用しないことによる不安(小学生、中学生、高校生)

インターネット(スマートフォン、タブレット・携帯電話含む)を使用しないと不安になりますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 不安になる 2 不安にならない 3 どちらともいえない

図 4. 6. 6



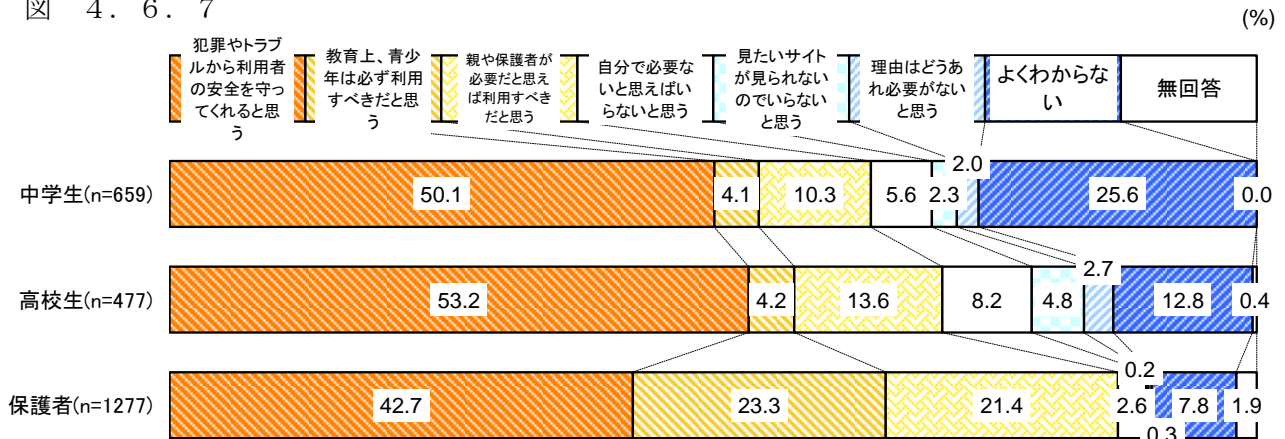
小学生、中学生、高校生に、インターネットを利用しないと不安になるかを聞いたところ、小学生の10.2%、中学生の9.9%、高校生の19.1%が「不安になる」と回答しています。「どちらともいえない」は小学生で20.2%、中学生で25.2%、高校生で32.1%が回答しています。

(5) フィルタリング利用に対してのイメージ (中学生、高校生、保護者)

フィルタリングの利用に対してどのようなイメージをお持ちですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 犯罪やトラブルから利用者の安全を守ってくれると思う
 2 教育上、青少年は必ず利用すべきだと思う 3 親や保護者が必要だと思えば利用すべきだと思う
 4 自分で必要ないと思えばいいと思う 5 見たいサイトが見られないのでいいと思う
 6 理由はどうかある必要がないと思う 7 よくわからない

図 4. 6. 7



中学生、高校生、保護者に、フィルタリングの利用についてのイメージを聞いたところ、中学生、高校生、保護者ともに「犯罪やトラブルから利用者の安全を守ってくれると思う」が最も多く、それぞれ50.1%、53.2%、42.7%となっています。

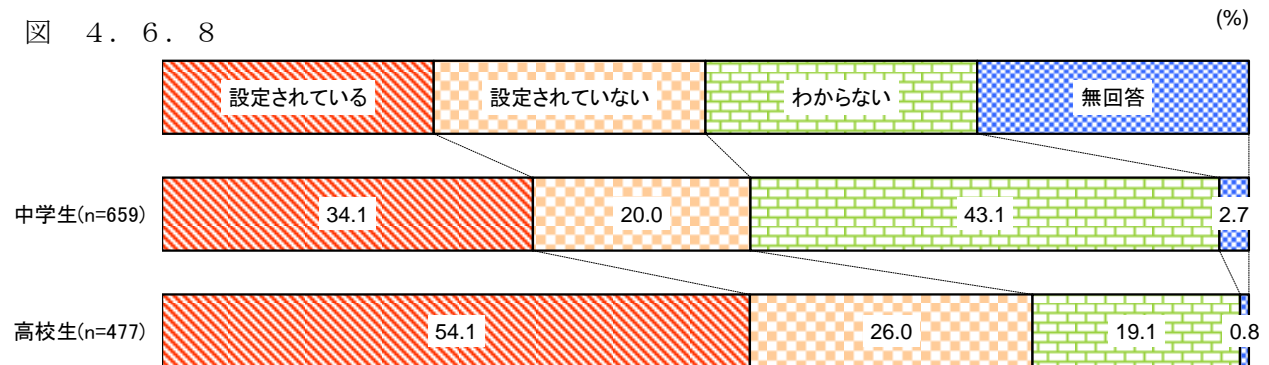
「教育上、青少年は必ず利用すべきだと思う」は、中学生で4.1%、高校生で4.2%にとどまっていますが、保護者は23.3%が回答しています。また、「親や保護者が必要だと思えば利用すべきだと思う」は中学生で10.3%、高校生で13.6%、保護者で21.4%が回答しており、「教育上、青少年は必ず利用すべきだと思う」と同様に、中学生、高校生と保護者で差が大きくなっています。

(6) フィルタリングの設定状況 (中学生、高校生)

ご自身のスマートフォン(タブレット・携帯電話を含む)にフィルタリングが設定されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 設定されている 2 設定されていない 3 わからない

図 4. 6. 8



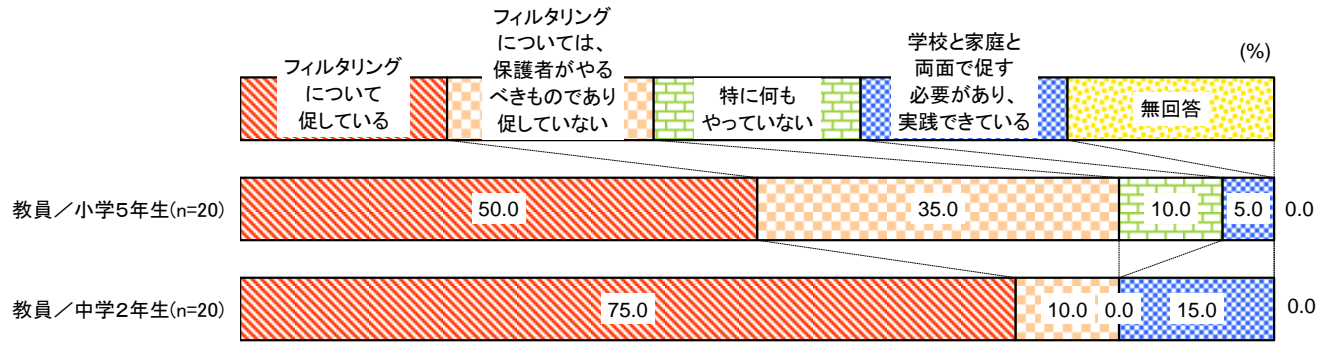
中学生、高校生に、スマートフォンにフィルタリングが設定されているかを聞いたところ、中学生の34.1%、高校生の54.1%が「設定されている」と回答しています。また、中学生では「わからない」が43.1%と多くなっています。

■教員の回答との比較（フィルタリング利用への対応）

児童生徒にフィルタリングの利用について、促していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 フィルタリングについて促している
- 2 フィルタリングについては、保護者がやるべきものであり促していない
- 3 特に何もやっていない
- 4 学校と家庭と両面で促す必要があり、実践できている

図 4. 6. 9



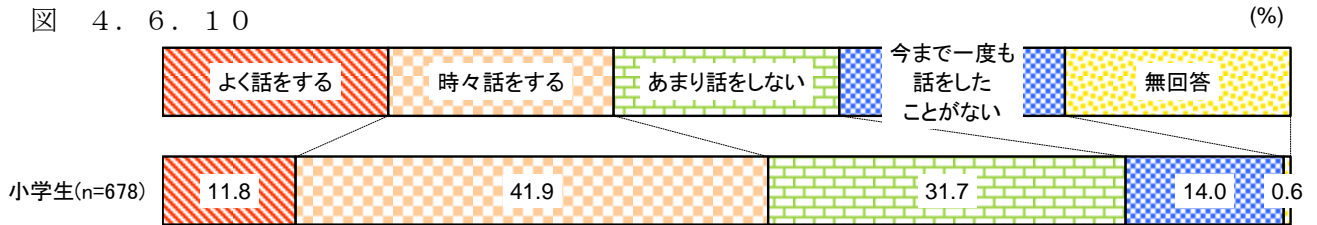
小学校、中学校の教員に、児童生徒にフィルタリングの利用を促しているかを聞いたところ、小学校の教員の 50.0%、中学校の教員の 75.0%が「フィルタリングについて促している」と回答しています。

(7) インターネットについて家族と話をする (小学生、中学生、高校生、保護者)

[小学生]

インターネットの使い方について家族と話をすることがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。
 1 よく話をする 2 時々話をする 3 あまり話をしない 4 今まで一度も話をしたことがない

図 4. 6. 10

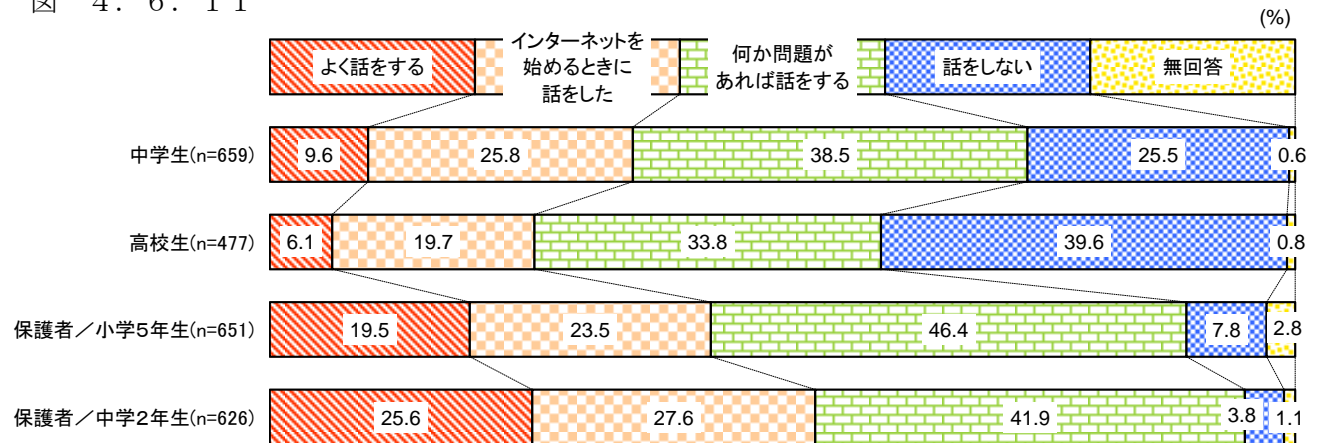


小学生に、インターネットの使い方について家族と話をするか聞いたところ、「よく話をする」が11.8%、「時々話をする」が41.9%、「あまり話をしない」が31.7%となっています。

[中学生、高校生、保護者]

インターネットの使い方について家族と話をすることがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。
 1 よく話をする 2 インターネットを始めるときに話をした
 3 何か問題があれば話をする 4 話をしない
 ※「保護者」については、「お子さんと話をすることがあるか」について聴取

図 4. 6. 11



中学生、高校生、保護者に、インターネットの使い方について家族と話をするか聞いたところ、「よく話をする」は、小学5年生の保護者では19.5%、中学2年生の保護者では25.6%であるのに対し、中学生、高校生ではそれぞれ9.6%、6.1%にとどまっています。

一方、「話をしない」は、小学5年生の保護者では7.8%、中学2年生の保護者では3.8%にとどまっていますが、中学生、高校生ではそれぞれ25.5%、39.6%が回答しています。

[中学生、高校生、青年、保護者]

インターネットで知り合った人とメールをしたり会ったりすることについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

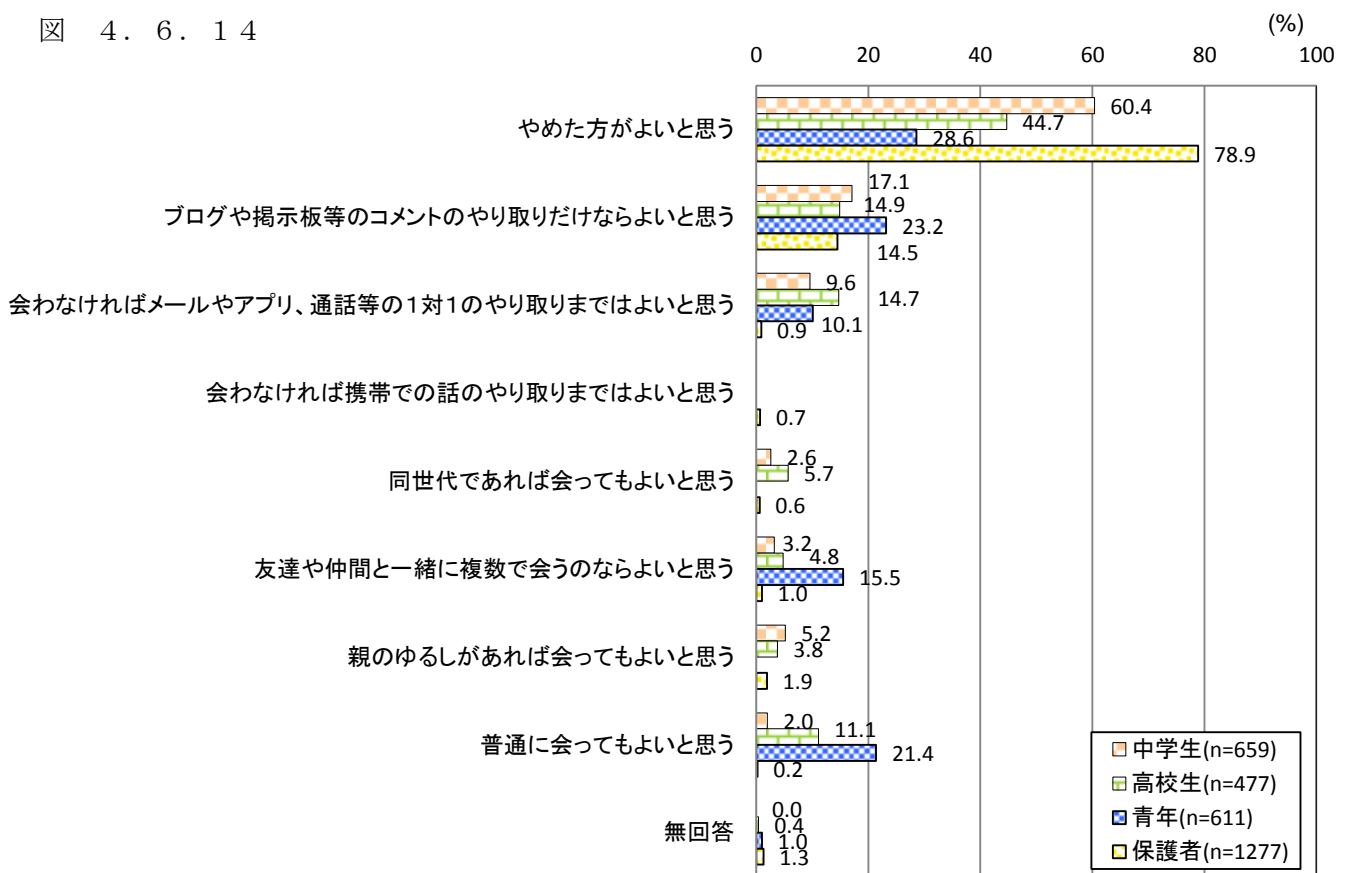
- 1 やめた方がよいと思う 2 ブログや掲示板等のコメントのやり取りだけならよいと思う
- 3 会わなければメールやアプリ、通話等の1対1のやり取りまではよいと思う
- 4 会わなければ携帯での話のやり取りまではよいと思う
- 5 同世代（中学生・高校生）であれば会ってもよいと思う
- 6 友だちや仲間と一緒に複数で会うのならよいと思う
- 7 親のゆるしがあれば会ってもよいと思う 8 普通に会ってもよいと思う

※「保護者」については、「お子さん」の行動をどう思うかを聴取

※「会わなければ携帯での話のやり取りまではよいと思う」は、「保護者」にのみ聴取

※「同世代（中学生・高校生）であれば会ってもよいと思う」「親のゆるしがあれば会ってもよいと思う」は、「青年」では聴取していない

図 4.6.14



中学生、高校生、青年、保護者に、インターネットで知り合った人とメールをしたり会ったりすることについて聞いたところ、それぞれ「やめたほうがよいと思う」が60.4%、44.7%、28.6%、78.9%と最も多くなっています。青年は「友達や仲間と一緒に複数で会うのならよいと思う」が15.5%、「普通に会ってもよいと思う」が21.4%と、計36.9%が会ってもよいと回答しています。

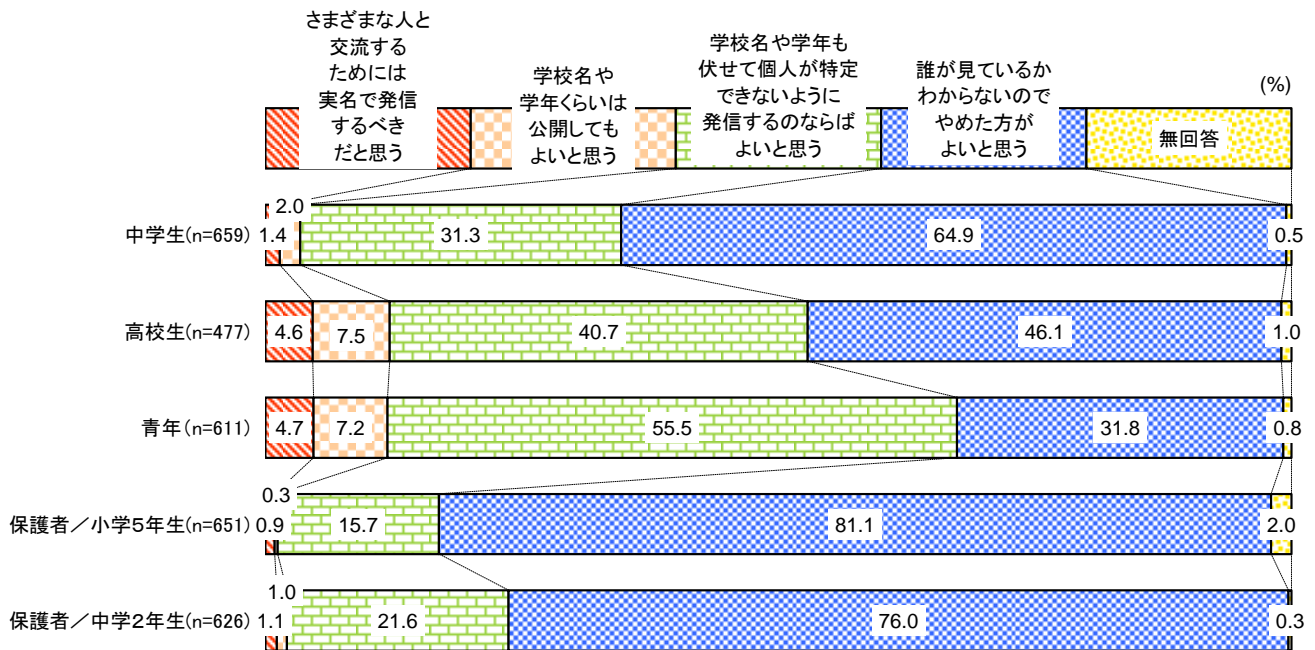
(9) ブログや SNS 等で自分に関する情報を発信する (中学生、高校生、青年、保護者)

インターネット上に自分に関する情報を発信することについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 さまざまな人と交流するためには実名で発信するべきだと思う
- 2 学校名や学年くらいは公開してもよいと思う
(「青年」については、「学校名や学年、会社名や職場くらいは公開してもよいと思う」)
- 3 学校名や学年も伏せて個人が特定できないように発信するのならばよいと思う
(「青年」については、「学校名や学年、会社名も伏せて個人が特定できないように発信するのならばよいと思う」)
- 4 誰が見ているかわからないのでやめた方がよいと思う

※「保護者」については、「お子さんが自分に関する情報を発信すること」について聴取

図 4. 6. 1 5



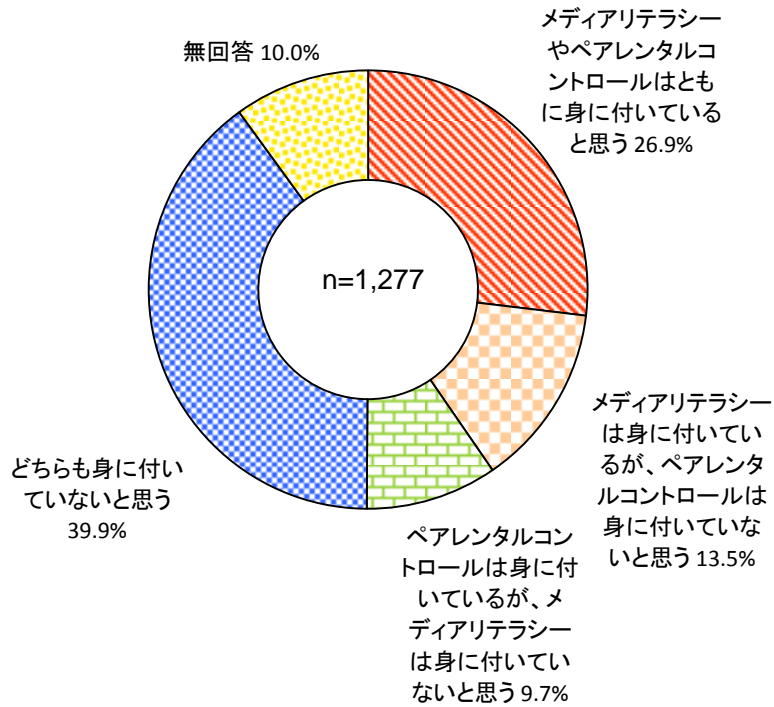
中学生、高校生、青年、保護者に、ブログや SNS 等で自分に関する情報を発信することについて聞いたところ、「誰が見ているかわからないのでやめた方がよいと思う」は、小学5年生の保護者で 81.1%、中学2年生の保護者で 76.0%が回答しているのに対し、中学生では 64.9%、高校生では 46.1%、青年では 31.8%にとどまっています。「学校名や学年も伏せて個人が特定できないように発信するのならばよいと思う」は、中学生では 31.3%、高校生では 40.7%、青年では 55.5%と、年代が上がるにつれ増加しています。

(10) メディアリテラシーやペアレンタルコントロールの状況（保護者）

自分の子どもを含め児童生徒に関してインターネットを正しく活用すること（メディアリテラシー）や子どもによるパソコンや携帯電話などの情報通信機器の利用を、親が監視して制限すること（ペアレンタルコントロール）が身に付いてきているか、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 メディアリテラシーやペアレンタルコントロールはともに身に付いていると思う
- 2 メディアリテラシーは身に付いているが、ペアレンタルコントロールは身に付いていないと思う
- 3 ペアレンタルコントロールは身に付いているが、メディアリテラシーは身に付いていないと思う
- 4 どちらも身に付いていないと思う

図 4. 6. 16



保護者に、子どもに対してメディアリテラシーやペアレンタルコントロールが身に付いているかを聞いたところ、「メディアリテラシーやペアレンタルコントロールはともに身に付いていると思う」が26.9%、「メディアリテラシーは身に付いているが、ペアレンタルコントロールは身に付いていないと思う」が13.5%、「ペアレンタルコントロールは身に付いているが、メディアリテラシーは身に付いていないと思う」が9.7%、「どちらも身に付いていないと思う」が39.9%となっています。

メディアリテラシー、ペアレンタルコントロール共に約半数が身に付いていないと思う、と回答しています。